□□ CMS News Letter □□□□□□□□□□□□□Core Micro Systems □□□

国内初、Cluster in a Box型(ワンボックス・クラスタ型)のZFS及び
Windowsベース高可用性スケーラブルNAS「PrimeSTOR CiB」と
「WinSTOR CiB」を発表しました。

□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□ Vol.028 2013/05/30 □□

いつもお世話になっております。
コアマイクロシステムズの吉政でございます。

本日は先日発表しました、国内初、Cluster in a Box型(ワンボックス・クラスタ型)のZFS及びWindowsベース高可用性スケーラブルNAS「PrimeSTOR CiB」と「WinSTOR CiB」についてお知らせします。

この製品のコンセプトはスモールスタート＆低価格大規模ストレージ拡張が可能なことにあります。従来の他社競合ストレージ製品は規模毎及びカテゴリ毎にラインアップされ、柔軟性と拡張性（特に性能面）に欠けていました。本製品により、すでに普及しつつありますサーバ仮想化/デスクトップ仮想化へのスケーラブルなバックエンドストレージとしての適用から従来NAS/SANストレージのリプレース時に将来的な拡張性において競合製品に対して大きなアドバンテージがあると確信しています。

詳細は以下をご覧ください。
http://www.cmsinc.co.jp/news/2013/news201305210.html

また6月3日に開催されるクラウディアンセミナー2013に弊社の木村が登壇します。そのセミナー情報にもご注目ください！

それでは今号も宜しくお願いいたします。

□□ INDEX □□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□

[News & Topics]

◇5月21日発表
国内初、Cluster in a Box型(ワンボックス・クラスタ型)のZFS及び
Windowsベース高可用性スケーラブルNAS「PrimeSTOR CiB」と
「WinSTOR CiB」を発表しました。

[イベント]
Cloudianセミナー2013に弊社木村が登壇します。

※Facebook
Facebookのページを運営しています。
全ての最新情報をこのページでも告知します。宜しければイイネをお願いします。
http://www.facebook.com/core.micro.systems.inc/

[ストレージ・マーケティングコラム]
第十五回：ZFSの特徴？

□□□

◆◆>[News & Topics]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

[News & Topics]

◇5月21日発表
国内初、Cluster in a Box型(ワンボックス・クラスタ型)のZFS及び
Windowsベース高可用性スケーラブルNAS「PrimeSTOR CiB」と
「WinSTOR CiB」を発表しました。

URL http://www.cmsinc.co.jp/news/2013/news201305210.html

解説：
本発表は高い注目を得たようで、アスキー、キーマンズネット、インプレスWEB担当者フォーラム、gooニュース、CNET、ZDnet、朝日新聞デジタル版など

11メディアに掲載されました。仮想環境のバックエンドストレージとして
柔軟な拡張性とリニアな性能向上を実現しています。詳細は報道発表文章原文
をご覧ください。

[イベント]

◇6月3日東京開催（無料）「Cloudianセミナー2013」
日本においてクラウドストレージサービスの展開が本格化しています。クラウドストレージは、ストレージ層を提供するクラウドのインフラサービスです。そのため、クラウドサービスが広く浸透し普及するにつれて、活用するアプリケーション・ツール・アプライアンス製品やサービス市場が大きく拡大することが期待されています。また、AWSが広く公開しているS3（Simple Storage Services)のAPIを利用するアプリケーションは数百種類もあり、S3エコシステム（生態系）を形成しはじめています。

本セミナーでは、国内外の大手クラウドサービスに採用されているCloudianとの相互接続性を公式認定し、グローバル規模に事業展開している各社が、エンタープライズにおけるクラウドストレージ活用ソリューションについてご紹介いたします。コスト効率と省力化を実現しながらデータの安全性も高めるという命題をもつ企業のIT部門や、クラウドを活用した企業ITシステムの構築をするSIベンダーの皆様にぜひ参加いただきたいセミナーです。

弊社木村が以下の講演をいたします。

『クラウドストレージを有効活用する企業向け
　高効率フロントストレージソリューション』

バックエンドのパブリック＆プライベートクラウドストレージを効率的に有効活用する、高性能エンタープライズキャッシュゲートウェイ「TwinStrata CloudArray」を使用したシームレスなクラウドストレージとの接続と、コラボレーション型ファイル共有「Maginatic MagFS」による完全なクラウド環境の実現をご紹介いたします。

詳細とお申込みは以下をご覧ください
http://cloudian.jp/news/events-items/20130603.html?re_adpcnt=3wB_4zq

◆◆>[ストレージ・マーケティングコラム　]<◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

第十五回：ZFSの特徴

最近　にわかにZFSの機運が高まってきているため、簡単にまとめの文章を作ってみました。

■そもそもZFSとは、、

ZFSは、128ビット・アドレッシングを特徴とするファイルシステムです。Unix File System (UFS) の次世代ファイルシステムと位置づけられています。Zettabyte File System の略でまさに、ゼタバイトクラスのファイルを扱うことを想定したファイルシステムです。

■ZFSの特徴とは

特徴として以下の項目が挙げられる。

・チェックサムの64ビット化
・コピーオンライト（COW）の実装
※大きなファイルをコピーする際に、実際にコピーするふりをして、複製物もしくは原本が変更されない限りコピーをしないという、最適化技術の一つ。
・ボリュームマネージャが必要なく、ボリュームの構成が容易にできるようになった
・ディスクの違い（容量、種類）を吸収する仮想ボリューム（ストレージプールと呼称）をサポート
・ストレージプールの作成・フォーマット・マウントがコマンド一行ですむ
・ファイルシステムそのものがRAID機能を持つ（RAID-Z2も対応）
・ホットスペア（稼働中にディスクの交換ができる技術）
・クローンプロモーション（アクティブなZFS領域を複製と置換を容易にする機能）
・再帰的スナップショットコマンドの簡素化オプション

なお、このZFSは現在、WindowsやLinux、MacOSなどに移植が進んでいます。

このZFSの普及が進むと、今まで高価なストレージしか実装されていなかった高価な機能が安価なストレージやサーバシステムでも実装できるようになり、より低コストなストレージ環境を実現できるようになります。

ここ近年ｍクラウドの利用が進み、ストレージがボトルネックになるケースも出てきて、より高機能で低コストなストレージを求める方がZFSに注目してきています。

弊社ではZFSに関する様々な日本語ドキュメントを公開しています。興味がある方はご覧ください。

初心者向けZFSテクニカルコラム：　※大人気です
http://www.cmsinc.co.jp/mm/mailmagazine/nexenta_index.html

テクニカルドキュメント：
http://www.cmsinc.co.jp/doccenter/index.html
※上記の資料のうち「Nexenta」や「Prime」がつくソリューションはZFSベースのものです。構成例や性能情報が記載されていますので、ご参考ください。

（マーケティング・アドバイザー　吉政忠志）

□□
※　CMS News Letterについては下記にバックナンバーをアップしています。
　　http://www.cmsinc.co.jp/mm/mailmagazine/index.html

編┃集┃後┃記┃

この度、弊社の木村がクラウディアンセミナー2013に登壇します。IBMやCAなどそうそうたる会社と一緒に、しかも国産では弊社が唯一の登壇となり、いい位置を頂きました。マーケティングで支援するものとしてはとてもうれしいです。クラウディアンはクラウドソリューションとして注目株です。是非セミナーにご参加ください。（吉政）

―――
コアマイクロシステムズでは、お客様事例を募集しております。事例公開にご協力いただきましたお客様の社名やお取り組みを弊社のホームページや販促資料に記載し、皆様のビジネスの露出度向上に些少でも貢献出来ればと思います。お気軽に弊社担当までお申し付けください。
―◇本メールマガジンの登録解除方法◇――――――――――――――――――――――――
このメールに対する登録解除は★そのまま返信★でその旨をお伝えください。
―――
本メールマガジンの送付先追加と送付先変更方法
このメールマガジンに★そのまま返信★で下記の項目をCut & Pasteして項目を埋め、返信して下さい。

変更の場合、旧送付先：
（１）メールアドレス：
（２）氏名　　　　　：
（３）会社名　　　　：
（４）部署名　　　　：
（５）役職名　　　　：

―――
発行人：コアマイクロシステムズ株式会社　吉政　忠志
――――――――――――― (C) Core Micro Systems Inc., All Rights Reserved ―